

やんツー 「_prayground」

2019.11.17(sun) — 2019.12.27(fri)



Generated image of buddha* 2019, System development: Shuto Mikami

この度、rin art association では初の個展となるやんツー 「_prayground」 を開催いたします。

本展では、いくつかの機械学習プログラムを組み合わせで構築したシステムによって、あらゆる入力画像を仏画の特徴的な描線に変換し、生成／書き連ね、抽象的な仏のイメージを構成していく新作ドローイングマシンと、過去作のドローイングマシンによる混沌とした抽象画や、同じ動作を繰り返し描く装置そのものを立体造形として扱い、組み合わせ、東洋的な信仰や、祈りというテーマで再構成したインスタレーションを発表いたします。この機会に、是非ご高覧ください。

statement

GAF A (Google、Amazon、Facebook、Apple) が明らかにしたように、急成長し巨大化した IT 企業や、それらの主体が加速的に推し進めた情報技術の発達、知識欲や物欲、承認欲求など、現代人の様々な欲望を余すことなく吸い上げ、保存し、構築されたデータベースによって成し遂げられている。より高度な「知性」とされるシステムは、それらのデータを礎に組み上げられる。欲望の渦から精錬された知性は、リコメンド機能に代表されるように、多くのオンラインサービスの裏側で暗躍しており、人々は半ば思考停止状態で神に教えを請うように、巧みに編集され、提供される情報を教授している。それらのある種、私たちにとって他者のようなシステムは、現段階において生身の人間のような意思を持つことはなく、自らは欲（煩悩）を持たず、それは解脱した仏のような存在に思える。

一方、現行のあらゆるテクノロジーは、合理主義的なデカルトの哲学をベースに、産業革命やモダニズムを経由して現在の状況に至っており、つまり極めて西洋的な思想で成立していると言える。本展では、西洋思想を基に構築された現代の「不可視の神」を東洋思想の象徴である仏の姿として表出させることを試み、古今東西の「知」について非言語的に語り、「知」の本質について考察する。

やんツー

1984 年、神奈川県生まれ。美術家。2009 年多摩美術大学大学院デザイン専攻情報デザイン研究領域修了。デジタルメディアを基盤に、行為の主体を自律型装置や外的要因に委ねることで人間の身体性を焙り出し、表現の主体性を問う作品を多く制作する。文化庁メディア芸術祭アート部門にて「SENSELESS DRAWING BOT」が第 15 回で新人賞、「Avatars」が第 21 回で優秀賞を受賞(共に菅野創との共作)。2013 年、新進芸術家海外研修制度に採択され、バルセロナとベルリンに滞在。近年の主な展覧会に「札幌国際芸術札 2014」(チ・カ・ホ、2014 年)、「あいちトリエンナーレ 2016」(愛知県美術館、2016 年)、「Vanishing Mesh」(山口情報芸術センター [YCAM]、2017 年)、「DOMANI・明日展」(国立新美術館、2018 年)、「Art Meets 06」(アーツ前橋、2019 年)等がある。<http://yang02.com>

オープニングレセプション 11.17(日) 18:00 - 20:00

[水-日] 11:00 - 19:00 [月-火] 休廊

contact

rin art association

370-0044 群馬県高崎市岩押町 5-24

t : 0273-87-0195 e : contact@rinartassociation w : <http://rinartassociation.com>